



「稲刈り」 本校の稲刈りは 9/30 実施予定！

稲刈り（いねかり）とは、熟した稲を収穫するために切り取る農作業です。古代には、穂のみを切り取っていたようですが、現在では株の根元で切り取るのが普通です。刈り取った稲は、普通はその根元で縛って束ね、稲架（はさ）にぶら下げて乾燥させます。実際の米の収穫はこれ以降の脱穀の過程で行われます。人力のみで行われていた頃は、大きな人数を要し、短期間で集中して行う必要のある作業でした。



稲刈りは古来、日本の農村部における秋の代表的な風物でした。秋祭りは、その年の稲が無事に収穫されたことを祝い、来年も豊作であることを祈願する祭りです。

稲刈りの実際の作業は、近年のコンバインの登場によって大きく様変わりしました。コンバインは 1940 年代に初めて登場し、高度経済成長期以降徐々に普及しました。稲刈りから脱穀までの作業を一貫して行えるのがコンバインの特徴です。



昔（人力の頃）は、多人数の必要であったので、農村域では稲刈りの時期になると、小学校でも休み（農繁休暇）になり、猫の手も借りたいほどの忙しさだったようです。

早くも「初雪」の便り!? 北海道（旭岳・黒岳）

北海道内は 18 日から 19 日にかけて、上空に入り込んだ寒気で冷え込みが強まり、大雪山系の旭岳（上川管内東川町、2291 メートル）と黒岳（同管内上川町、1984 メートル）で今季初の降雪が確認された。黒岳の初雪は、記録が残る 1974 年以降で最も早かった昨年より 32 日遅く、平年並み。



道内最高峰の旭岳では午前 6 時半頃、標高約 1600 メートルの旭岳ロープウェイ姿見駅付近で、うっすらと雪が積もった。登山に訪れた小樽市の公務員・片岡浩一さん（55）は「予報で雪は想定していたが、こんなに降るとは……」と話した。



黒岳では、黒岳ロープウェイを運行する「りんゆう観光」（札幌）の石室避難小屋（標高約 1900 メートル）の管理人が、18 日午後 11 時頃、降雪を確認。午前 6 時頃の積雪は 5 センチほどという。

9/19「北海道新聞」